

平成28年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	1 診療チームに1学生を配置しポートフォリオで評価する新しい臨床実習	
実施組織 (または対象のカリキュラム)	医学部医学科	
※連携する他学部・機関がある場合は記入	信州大学医学部と臨床実習に関する教育協力協定を結んだ病院	
実施責任者(所属)	多田 剛	(医学部)
取組の目標	実習2年目の全学生を指導医と1対1として、診療チームの一員として実習できる環境を作り、学生が診療の手ほどきを受けやすい環境にする。学生の自学自習を促すためにポートフォリオを導入する。	
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	- 県内外の36教育協力病院の協力を得て、学生一人一人を1診療チームに配置するという方針で、新しい臨床実習を開始した。 - ポートフォリオ普及のための学内説明会を頻回に開催した。 - 学外の教育協力病院の学生指導医に対しても、教員が出張して医学教育FDを各病院で3回ずつ開催した。 - 主体的に実習している学生をより深く、客観的に評価できるようにポートフォリオで評価する方法に変更した。 - 何らかの問題がある学生が実習に行く先々で同じ問題を起こさないために、10名程度の学生の振り返りを、学習した診療科に拘らず医学教育センターで行うことにした。 - この成果は平成28年度医学教育学会で報告した。 - 海外臨床実習派遣予定校(ウダヤ大学・ディンネコロ大学)を視察し、協定に向けての準備を進めた。	
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望 (達成の度合いを選び、そう評価する理由と今後の展望を記述)	☒ a. 達成できた ☐ b. おおよそ達成できた ☐ c. 半ば達成できた ☐ d. おおよそ達成できなかった ☐ e. 達成できなかった	(そう評価する理由) 県内外の36病院に配属された学生らはインターンシップとして実習に臨むために、意欲的で、病院の評価も高い。また、授業アンケートでは指導医とのコミュニケーションに満足する学生は99%に及ぶ。 (今後の展望) 今後も本取り組みを継続して進め、更なる臨床実習の充実を図る。